

2025年2月期第2四半期（中間期） 決算説明会



1. 決算ハイライト

2. 2024年度 上半期取組み

3. 2024年度 下半期重点取組み方針

4. 2025年2月期 連結業績予想



1 .決算ハイライト



2 . 2024年度 上半期取組み



3 . 2024年度 下半期重点取組み方針



4 . 2025年2月期 連結業績予想

●上半期決算総括

- ✓ 連結の営業収益・営業利益・経常利益・中間純利益いずれも過去最高益を更新
- ✓ 全店売上高は前年同期比103.7%と伸長
- ✓ 新規開設は2店舗、重点政策である既存店改装は11店舗で実施
冷凍ケースの入れ替えは28店舗383台実施
- ✓ 移動スーパーは新規12台稼働開始、Maxマート（無人店舗）は新規28店舗開設、Uber Eatsは新規11拠点開設
- ✓ トータルアプリ i A E O N 推進 お気に入り店舗登録70万人突破
キャッシュレスセルフレジ導入完了、電子棚札93店舗へ導入

営業収益1,880億円（前年同期比103.6%）で過去最高
営業利益・経常利益・中間純利益についても過去最高益を更新

（百万円・%）

	2024年2月期 第2四半期（中間期）	2025年2月期 第2四半期（中間期）	前期比
営業収益	181,537	188,076	103.6
売上高	177,682	184,192	103.7
営業利益	5,782	6,277	108.6
経常利益	5,777	6,272	108.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,641	4,032	110.7

総資産は131億円増加し1,432億円、負債合計は60億円増加し605億円、純資産は70億円増加し826億円

(百万円・%)

		2024年2月期第2四半期（中間期）		2025年2月期第2四半期（中間期）		前期増減
		実績	構成比	実績	構成比	
資産	流動資産	59,295	45.6	68,754	48.0	+9,459
	固定資産	70,831	54.4	74,487	52.0	+3,656
	資産合計	130,126	100.0	143,242	100.0	+13,116
負債・純資産	流動負債	45,241	34.7	51,738	36.1	+6,496
	固定負債	9,202	7.1	8,805	6.2	▲397
	負債合計	54,444	41.8	60,543	42.3	+6,099
	純資産	75,682	58.2	82,699	57.7	+7,017
	負債純資産合計	130,126	100.0	143,242	100.0	+13,116

客数は前年同期比101.7%、客単価は前年同期比101.0%
 売上高は前年同期比102.7%と伸長
 1点単価上昇で客単価は維持したが、買上点数に課題を残す

既存店前年同期比推移

(単位：%)

	24年2月期 第2四半期 (中間期)	24年3月	24年4月	24年5月	24年6月	24年7月	24年8月	25年2月期 第2四半期 (中間期)
売上高	103.8	104.1	102.3	100.4	103.4	100.8	105.3	102.7
客数	101.4	100.1	101.5	101.1	102.7	101.2	103.4	101.7
客単価	102.4	104.0	100.8	99.3	100.7	99.6	101.9	101.0
1品単価	106.0	104.1	102.6	103.9	103.9	101.6	104.4	103.4
買上点数	96.7	99.9	98.2	95.6	96.9	98.1	97.6	97.7

※経営管理上の数値となります。

2期連続の大幅賃上を実現しつつ、効率化投資による投入人時抑制効果で生産性が向上

生産性指標	2024年2月期第2四半期 (中間期)	2025年2月期第2四半期 (中間期)	前期増減
人時売上高	14,680円	15,251円	+571円
人時生産性	3,643円	3,776円	+133円

販管費	2025年2月期第2四半期 (中間期)	前期比
人件費	24,114百万円	100.9%
販売費	4,844百万円	102.9%
設備費	15,245百万円	102.1%
一般費	3,281百万円	107.0%
販売費及び一般管理費	47,486百万円	101.9%

1 . 決算ハイライト

2 . 2024年度 上半期取組み

3 . 2024年度 下半期重点取組み方針

4 . 2025年2月期 連結業績予想

経済活動の活性化が進み、雇用・個人消費の回復やインバウンド需要増加等、持ち直しの動き。一方、海外景気の下振れなど国内景気の下押しリスクも懸念され、先行き不透明感続く。

- エネルギー、原材料価格の高騰に起因した食品価格上昇
- 人件費・電気料金などコスト負担の増加
- 業種・業態を超えた競争環境の激化
- 巨大地震、大型台風などの災害リスクへの不安増大

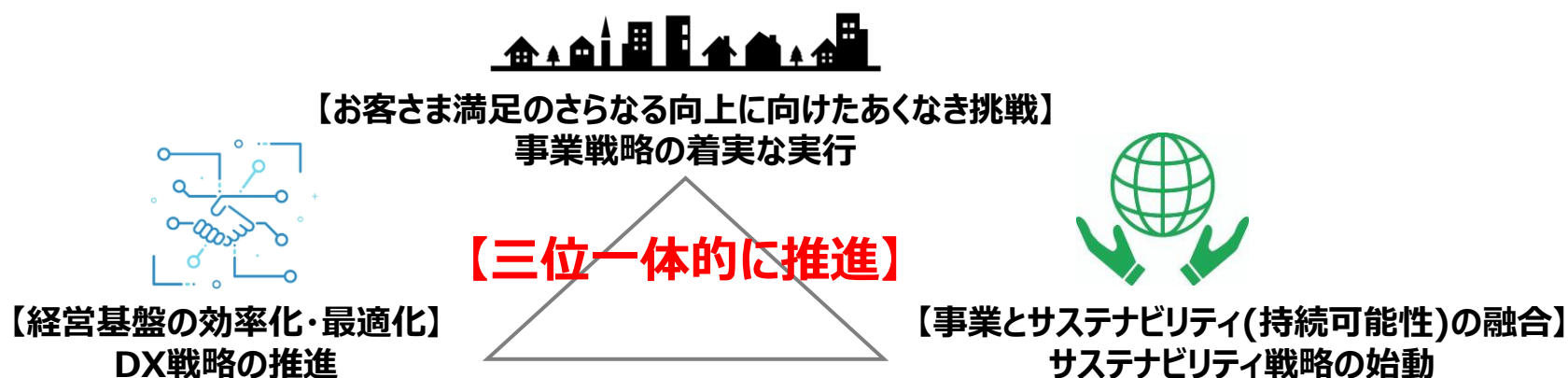
**“想いを形に、「おいしい」でつながる。”を具現化
新たに策定した中期経営計画（2024年度～2026年度）
の基本戦略に沿った施策の推進**

【2024年度の位置づけ】

- 「徹底した暮らし応援」と「新しい価値提供」の両立を実現する1年とする
- 同時に、経営の足腰を鍛えあげ、地域社会への貢献度を高めるための戦略を確実に実行する

【2024年度 経営基本方針】

- お客さま満足のさらなる向上に向けたあくなき挑戦
- 経営基盤の効率化・最適化を通じた働き方の変革
- 事業とサステナビリティ(持続可能性)の融合



**お客さま満足のさらなる向上
に向けたあくなき挑戦**

エリアシェア拡大に向け、静岡県と愛知県にそれぞれ 1 店舗を新規開設



マックスバリュ浜松新橋店（3月）

イオンタウン浜松新橋ショッピングセンターの核テナントとして、浜松市内 15 店舗目となる新店。
浜松市中央区の南側をカバーし、地場野菜コーナー、浜松餃子コーナーなど、じもの商品を充実



マックスバリュ大府横根店（7月）

愛知県大府市内 2 店舗目となる新店。
イオンのプライベートブランド「トップバリュ」の展開を強化するとともに、大府市情報掲示板やお買物バスの乗り入れなど、行政との連携を強化した地域密着型店舗

競争力の強化に向け既存店の改装を11店舗で実施し、最新の品揃え導入と設備の刷新を強力に推進



改装店舗中心としたじものコーナーの拡充や、イオンのプライベートブランド「トップバリュ」、栄養バランスを考慮した「ちゃんとごはん」など、当社ならではの価値を提供



じもの：静岡県産「頂」コーナー



中央通路のトップバリュ集合売場



ちゃんとごはんサラダ



じもの：浜松餃子弁当



ローカルトップバリュ三方原じゃがいも



上場20周年記念ちゃんとごはん弁当

新たな顧客接点として、ノンストア事業の展開を加速



移動スーパー

愛知・神奈川・岐阜の稼働含め12台を稼働開始
総稼働29台、5県下にサービスエリアを拡大
地域の買物支援、地域見守りの役割を担う



Maxマート(無人店舗)

新規に28店舗を開設
静岡・愛知・岐阜・三重 4 県下で71店舗を展開
企業の福利厚生充実、利便性向上に寄与



Uber Eats

新規に11拠点を開設
静岡・愛知・岐阜・三重・滋賀・神奈川で70拠点展開
ラストワンマイルをUber Eats配送で補完

経営基盤の効率化・最適化 を通じた働き方の変革

店舗作業を減らし、お客さまの付加価値向上に人時を配分
キャッシュレスセルフレジ導入完了、電子棚札93店舗に導入



キャッシュレスセルフレジの導入完了

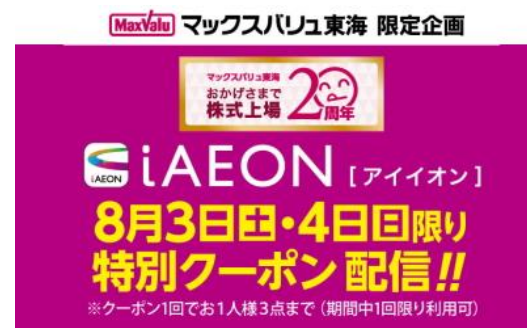
- ・上期でキャッシュレスセルフレジの導入を完了
- ・レジ精算に係る関連業務の効率化で生産性向上



電子棚札の導入

- ・電子棚札を93店舗に導入
- ・POPの付け替え作業をなくすとともに、売場売価とレジ売価が自動連携することで、売価誤差撲滅にも寄与

iAEONお気に入り店舗登録 累計70万人突破 デジタル販促の強化、リテールメディアの活用



- ・iAEONお気に入り店舗登録数 累計730,104人
- ・上場20周年記念クーポンなど、デジタル販促強化
- ・リテールメディアの活用に向けた基盤構築



事業とサステナビリティ (持続可能性)の融合

浜松新橋ショッピングセンター開店時の植樹活動の実施や 太陽光発電システム導入を推進



2024年3月
イオンタウン浜松新橋ショッピングセンター
開設に先立ち、ふるさとの森づくり植樹祭
にて2,400本の植樹を実施



再生可能エネルギーの利用促進を目的に
PPAモデル（Power Purchase Agreement）
を活用した太陽光発電システムの導入を
推進。上期10店舗及び浜松本社に導入
完了

利用金額の一部を自治体等に寄付する「ご当地WAON」の利用促進や、被災地支援を目的とした石川県フェアの開催



利用金額の一部を自治体等に寄付する「ご当地WAON」の利用促進を図り、2023年度の利用金額の一部2,019万円の寄付を実施



2024年7月、令和6年能登半島地震の被災地支援を目的に、三重県内大型店4店舗にて石川県応援フェアを実施。売上金の一部を被災地に寄付すると共に、義援金募金を実施

大府横根店開店直前イベントとして、大府市と連携で地域のお客さまとの交流型イベントを開催



大府市地域見守り活動に関する
包括協定の締結



大府市公式マスコットキャラクター
おぶちゃんも登場



イトインコーナーでは近隣のお子様
が描いたおぶちゃんの絵を展示



地元のキッチンカー大集結



大府市消防本部ファイアーX
ヒーローショー



大府市地域情報掲示板
おぶちゃんボード

2年連続大幅賃上・人事制度の見直し、従業員一人ひとりの個性を尊重する身だしなみルールの変更を実施



昨年に引き続き大幅な賃上(社員6.4%、パート7.0%)を実現。働きがい向上に向けた人事制度の見直しなど、従業員満足を上げてお客さま満足を実現



従業員一人ひとりの個性を尊重し、誰もがいきいきと働ける職場環境を目指して身だしなみ基準の見直しを実施。
自由度の高いルールとする一方、今まで以上に気持ちの良いあいさつと接客を徹底

1 . 決算ハイライト

2 . 2024年度 上半期取組み

3 . 2024年度 下半期重点取組み方針

4 . 2025年2月期 連結業績予想

下期も引き続き2024年度経営基本方針に従い、重点施策に取り組めます

2024年度の位置づけ

- ・「徹底した暮らし応援」と「新しい価値提供」の両立
- ・経営の足腰を鍛えあげ、地域社会への貢献度を高める

2024年度経営基本方針

お客さま満足のさらなる向上に向けたあくなき挑戦

経営基盤の効率化・最適化を通じた働き方の変革

事業とサステナビリティ(持続可能性)の融合

三位一体の取り組みを継続

新店、改装を推進するとともに、顧客接点を拡充し、節約志向への対応と当社ならではの付加価値を提供する

2024年度下期の主要施策

新規出店 及び
既存店の収益性向上

新規出店・既存店改装
冷凍ケース入替え
最適な商品・サービス・施設で
お客さま満足を最大化

顧客接点の拡充

移動スーパー・Maxマート・
Uber Eatsの新規稼働推進
ノストア事業拡大で
新たな顧客接点を創出

高付加価値商品の提供

じもの・ちゃんとごはん・トップバリュ
高付加価値・差別化商品の拡販

効率化投資の更なる推進と、顧客基盤充実・活用による働き方の変革・効率化を実現する。

2024年度下期の主要施策

店舗業務効率化

電子棚札の導入加速
発注起案時需要予測活用拡大

顧客基盤充実と
新たな収益源の追求

iAEONお気に入り店舗登録推進
リテールメディアの利活用

地域との共生を最も真剣に考える企業を目指し、地域の発展とサステナブルな地域社会の構築に貢献

2024年度下期の主要施策

環境保全活動

太陽光発電システム導入推進
リサイクルループの取り組み
食品ロス削減・廃棄物削減

社会貢献活動

ありがとうキャンペーン寄付
海岸清掃・道路清掃の実施
幸せの黄色いレシートキャンペーン
イオン チアーズクラブ

1 . 決算ハイライト

2 . 2024年度 上半期取組み

3 . 2024年度 下半期重点取組み方針

4 . 2025年2月期 連結業績予想

	通期予想（百万円）	前期比・差
営業収益	377,000	102.8%
営業利益	13,700	101.6%
経常利益	13,600	100.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,400	101.0%
一株当り当期純利益	263円49銭	+2円43銭
一株当り年間配当	75円 〔普通配当70円 記念配当 5円〕	+15円 〔普通配当+10円 記念配当 +5円〕



マックスバリュ東海株式会社